

国頭地区ミニバスケットボール交歓会実施の感染防止策チェックリスト①

参加者が遵守すべき事項

□以下の事項に該当する場合は、本連盟が主催する大会には出場できません。

- ①体調がよくない場合（例：発熱（37.5℃以上）・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ③過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□感染のリスクを最小限にするために、感染防止の3つの基本である、十分な距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒を含めた以下の感染対策を推奨する。

①ソーシャル・ディスタンスを確保

- 1) 人と人の間の距離を1メートル以上とり、ソーシャル・ディスタンスを保つ。
但し、プレイ中やアップ中はその限りではない。また、障害者の誘導や介助を行う場合を除く。
- 2) 活動中のサイドラインやベンチでも、このソーシャル・ディスタンスを確保するよう努める。
- 3) 基本的に試合を行うチームの指導者、選手、保護者のみの体育館への入場となる。
試合終了後、選手、保護者は速やかに退場し、退場が終り次第、次のチームの入場となる。

②マスクの持参・着用

- 1) 選手はプレイ中やアップ中以外は、基本マスク着用とする。
- 2) コーチや、その他の関係者は常にマスクを着用する。
- 3) マスクを着用している場合は、熱放散が妨げられることから、熱中症のリスクを考慮して、熱中症予防行動（※）に努める。

※○暑さを避ける ○こまめに水分補給する ○適宜マスクをはずす

○日頃から健康管理をする ○暑さに備えた体作りをする

（屋外で十分な距離を確保出来る場合には、マスクをはずす。また、マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩する。）

- 4) 顔全体をカバーするフェイスシールドについては、着用している個人あるいはチームメイトに意図しないケガのリスクを増加させるため、競技中の着用を許可しない。

③手洗い・手指消毒の徹底

- 1) 施設を利用する前後や、多くの人々が頻りに触る物に触れた後は、石鹸と水で30秒程度手を洗う、あるいは手指消毒を行う。
- 2) 手指消毒液を人が通りやすい場所に設置することで、利用しやすくする。
- 3) 定期的に手指消毒を行う（掲示物等で手洗いや手指消毒を促す）。

④換気を行う

- 1) 窓を開けたり、換気扉を利用したりして、常に、あるいは定期的に換気を行う。

⑤備品などの共用をしない

- 1) 選手間での備品（例：ビブス、タオル）の共有はしない。
- 2) 選手は各自のウォーターボトル、あるいはペットボトルを使用し共有しない。



※本チェックリストは、「JBA 活動再開に向けたガイドライン」に基づき作成しています。

国頭地区ミニバスケットボール交歓会実施の感染防止策チェックリスト②

参加チーム用

- 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 大会に参加する上での注意事項を選手・スタッフ全員が理解する。
- 本連盟の「参加同意書」は、各チームの代表者で必ず保管しておく。
- 大会当日に「健康状態申告書」に記入し、各チームの代表者が取りまとめ、主催者に提出する（提出が無い場合は、大会には出場できない）。
- 選手、指導者、スタッフはマスクを着用する。
- 握手やハイタッチ等を行わない。
- プレー以外の不要な接触を避ける。
- ベンチでの選手間の距離を極力保つ。
- ボトル、タオル等他の選手と共有しない。
- 体育館内での大声を発する行為や応援等をしないこと。
- 試合前後のチーム、審判員との挨拶、相手チームベンチへの挨拶は行わない。
- 館内への入退場時、トイレ使用時等には、手洗いや消毒を行う。
- 試合終了後、指導者の指示の元速やかに館内から退場する。
- 帰宅後 14 日以内にチームの中から感染者が出た場合は、理事長に速やかにその旨を伝える。



指導者用

- 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 活動する上での注意事項を関わる全ての方と共有し理解してもらう。
- 「参加同意書」は、各チームの代表者で必ず保管しておく。
- 大会当日にチームの「健康状態申告書」を取りまとめ、確認し主催者に提出する。
- 選手、指導者、スタッフはマスクを着用する。
- コート上で選手、審判員等と会話をする際にも距離についてしっかりと配慮する。
- 握手やハイタッチ等を行わない。
- プレー以外の不要な接触を避ける。
- ベンチでの選手間の距離を極力保つ。
- ボトル、タオル等他の選手と共有しない。
- 体育館内での大声を発する行為や応援等をしないこと。
- 試合前後のチーム、審判員との挨拶、相手チームベンチへの挨拶は行わない。
- 館内への入退場時、トイレ使用時等には、手洗いや消毒を行う。
- 試合終了後、指導者の指示の元速やかに館内から退場する。
- 帰宅後 14 日以内にチームの中から感染者が出た場合は、理事長に速やかにその旨を伝える。

※本チェックリストは、「JBA 活動再開に向けたガイドライン」に基づき作成しています。